




記者発表資料

	令和元年7月3日 市民局生活文化スポーツ部 文化振興課 電話245-5261 内線2521
---	---

「^{せん}はの葉の芸術祭」の開催概要が決定しました！

千葉市では、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とした文化芸術施策として、本市が持つ魅力的な文化力を広く発信するため、様々な文化芸術事業を文化プログラムとして実施しているところです。

このたび、新たな文化プログラムとして、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催時期に焦点を当てた芸術祭の開催概要が決定しましたので、お知らせします。

1 芸術祭タイトル

^{せん}はの葉の芸術祭

2 芸術祭キーワード

変化 / CHANGE

3 芸術祭コンセプト

アートでつながる アートでつなげる 自由なアートが人と社会をかえていく

4 開催目的（レガシー）

- (1) 市制100周年を迎える前に、本市の「自然や歴史に根差した固有の文化力」と「技術の進展によって生まれた新しい文化力」を市民が再認識できる。
- (2) 「文化芸術の間口を広く、敷居を無くし、日常的な活動へと広げる取組」の機会を創出する。

5 開催期間

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催期間に合わせた時期（詳細は検討中）

※東京2020オリンピック競技大会（2020年7月24日(金)～8月9日(日)）

※東京2020パラリンピック競技大会（2020年8月25日(火)～9月6日(日)）

6 開催会場

千葉市美術館、市民ギャラリーいなげ、幕張海浜公園（見浜園）、生涯学習センターをメイン会場候補とし、サテライト会場は検討中

7 芸術祭の企画概要

総合ディレクターに、千葉大学教育学部芸術学研究室の^{じんのしんご}神野真吾准教授を選任し、以下の企画概要で実施する。

(1) 写真芸術展

第一線で活躍するアーティストが、市の資源（市民・場所・先進的な取組など）を被写体に、メッセージ性の高い写真作品を制作し展示する。また、作品のメッセージが観た人に伝わりやすいよう、展示空間を効果的に演出し、観た人に多様な資源を持つ市の魅力を広く発信する。

(2) 体験・創造

本市で実施してきた体験創造ワークショップ「ななめな学校」を子どものみならず大人も対象に開催する。また、ワークショップ講座の一部に最先端の技術が学べる内容も取り入れる。

(3) 日本文化の体験

見浜園で、市民のみならず訪日外国人も含めた本市への来訪者の方々を対象に、伝統芸能の体験や、ジャポニズムをテーマに、光を使ったインスタレーション（展示空間全体をアート作品として表現すること）等のテクノロジーアートを活用したイベントを開催する。

8 今後のスケジュール

2019年8月 「千の葉の芸術祭」基本計画書策定（予定）

<参考>

1 ななめな学校とは

アーティストやデザイナーなど、第一線で活躍するクリエイターが講師となり、小学生をターゲットにいつもとは違う「ななめな視点」でメディアアートやテクノロジーを使った新しい表現にチャレンジする講座。

・過去開催実績（主催：千葉市メディア芸術振興事業実行委員会（千葉市と有識者で構成））

H28年度参加実績 延べ75人

H29年度参加実績 延べ286人

H30年度参加実績 延べ441人

2 神野真吾氏について

(1) 千葉市とのかかわり

- ・千葉市文化芸術振興会議 委員長
- ・千葉市ナイトタイムエコノミー推進審議会 委員長
- ・千葉市美術館アウトリーチプログラム「千葉アートネットワーク・プロジェクト（WiCAN）」代表（千葉アートネットワーク・プロジェクト（WiCAN）とは、千葉大学教育学部芸術学研究室と千葉大学の学部横断型授業「文化をつくる」「アート・コミュニケーション」の受講生、千葉市美術館、学校、アーティスト、まちづくりNPOなどが核となったネットワーク組織。大学の授業であると同時に、千葉市美術館のアウトリーチプログラムでもある。）

(2) その他のアート関係の役職

- ・国立美術館の教育普及事業等に関する委員会 委員
- ・東京大学「社会を指向するアートマネジメント人材育成事業」AMSEA 副代表